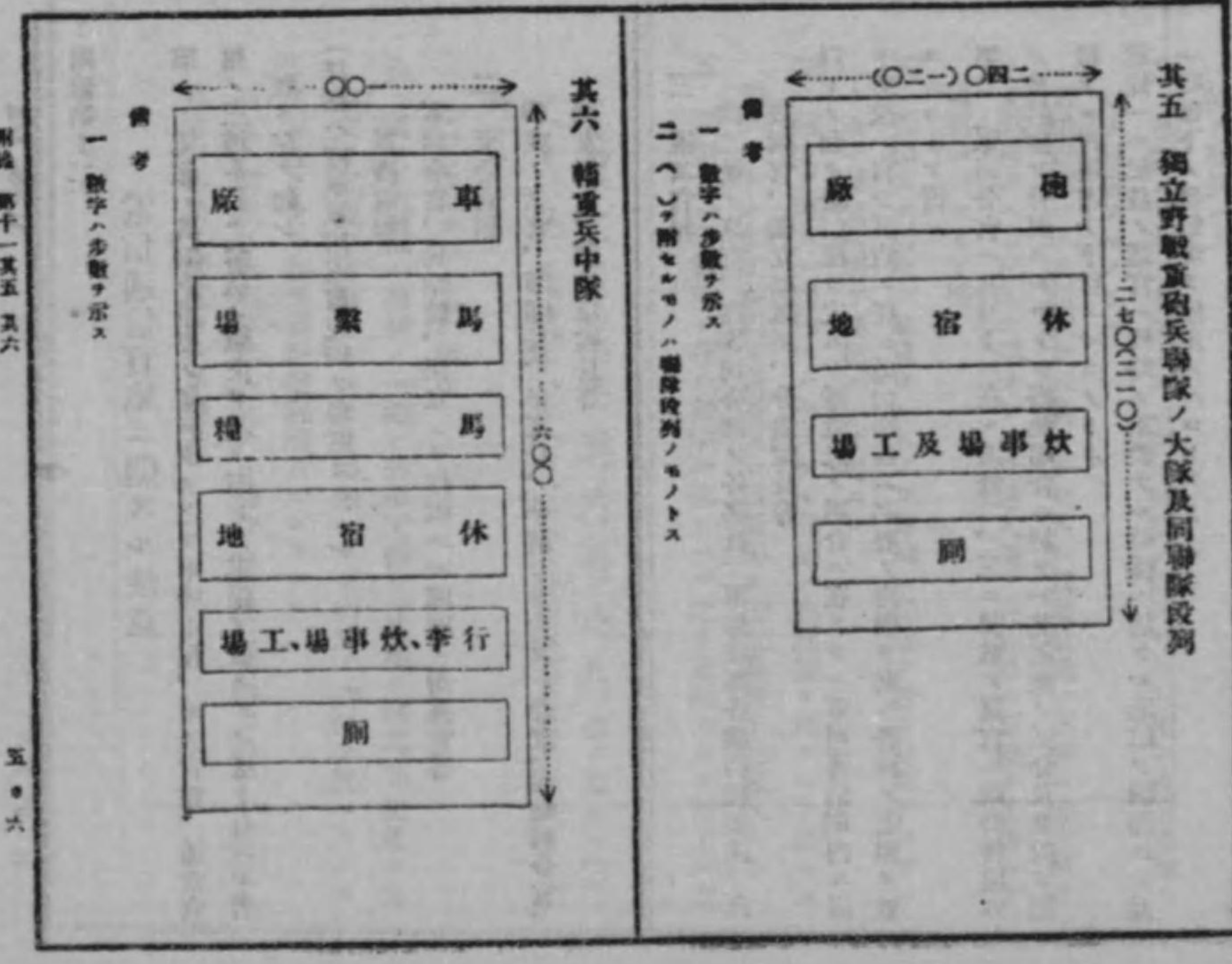
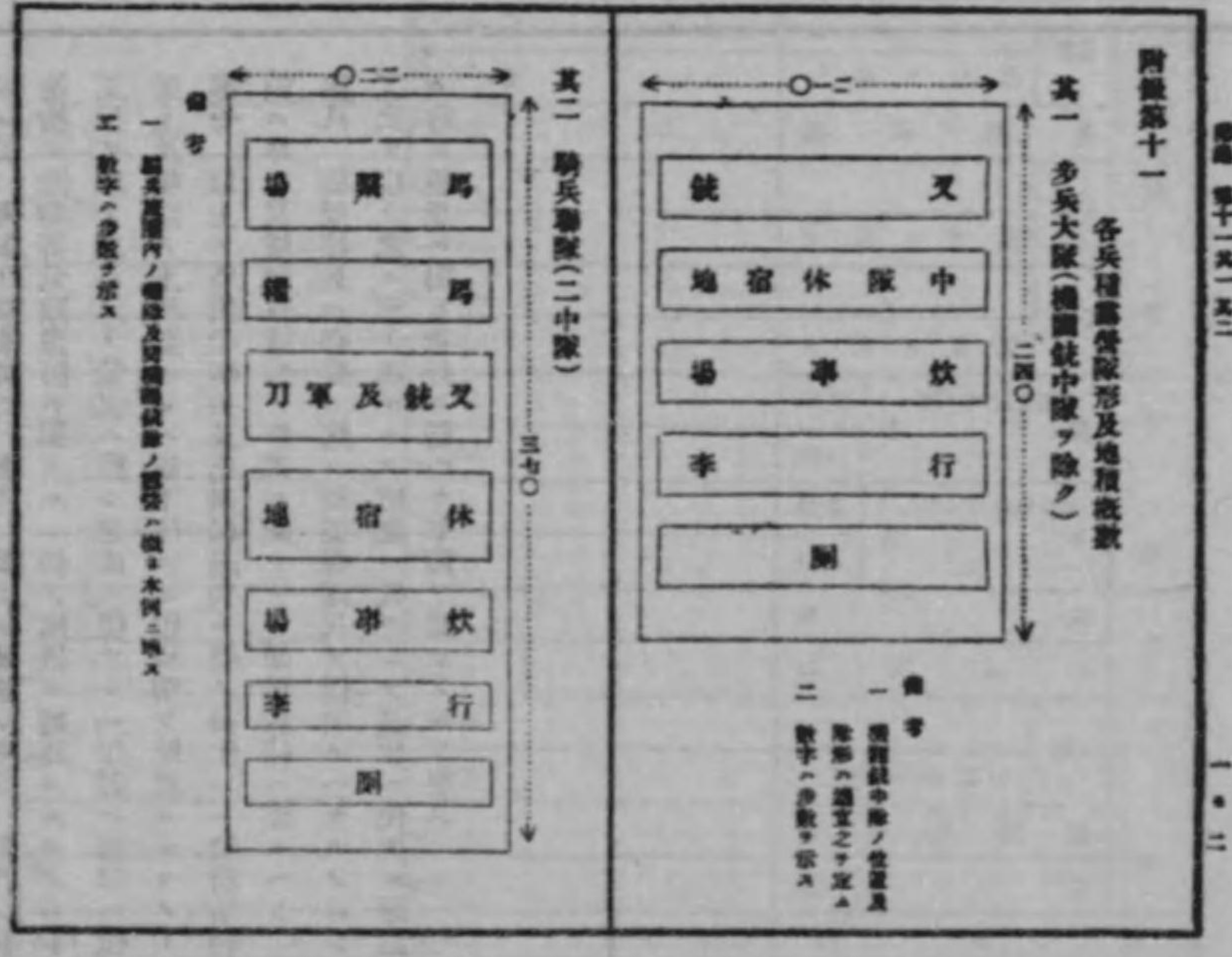
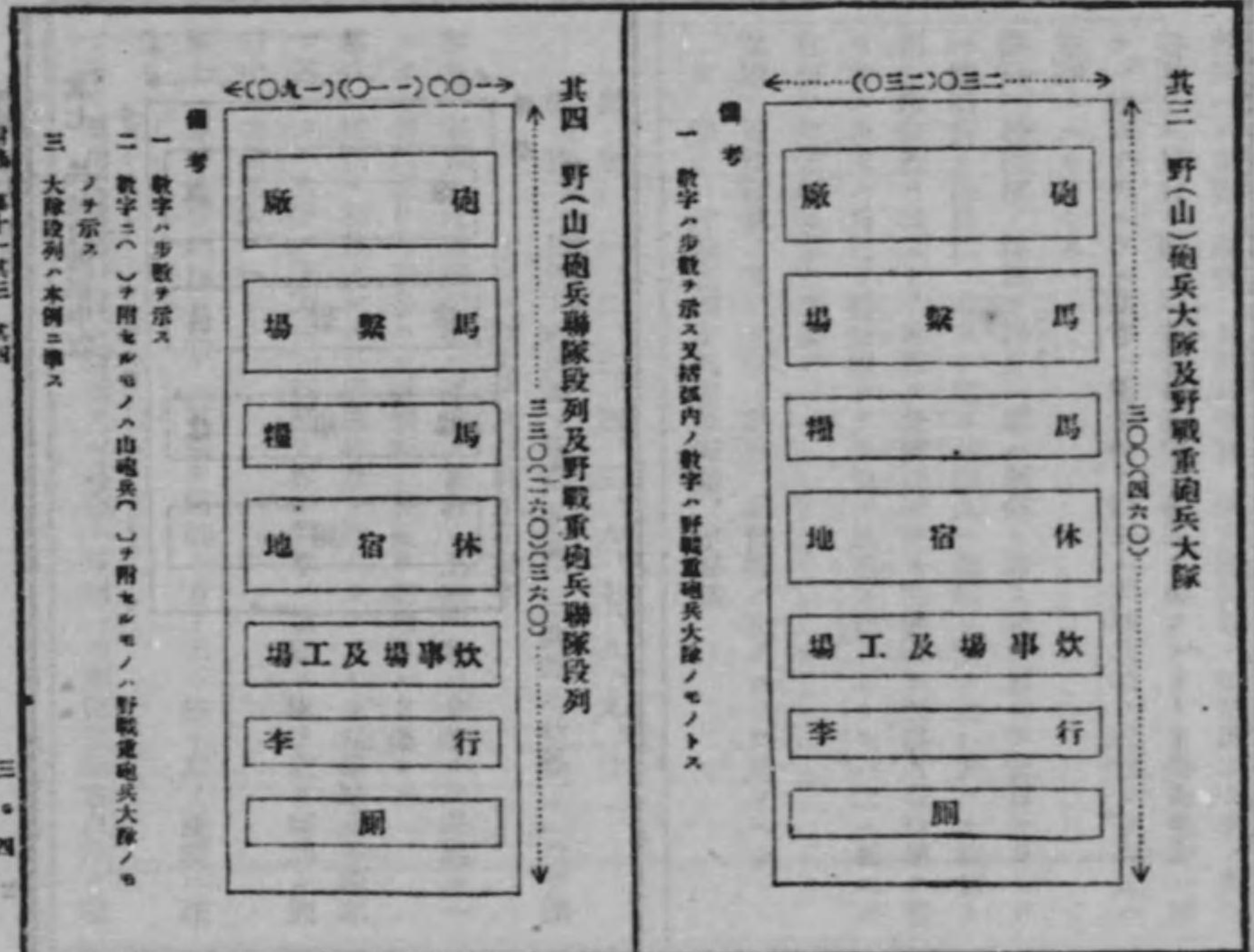
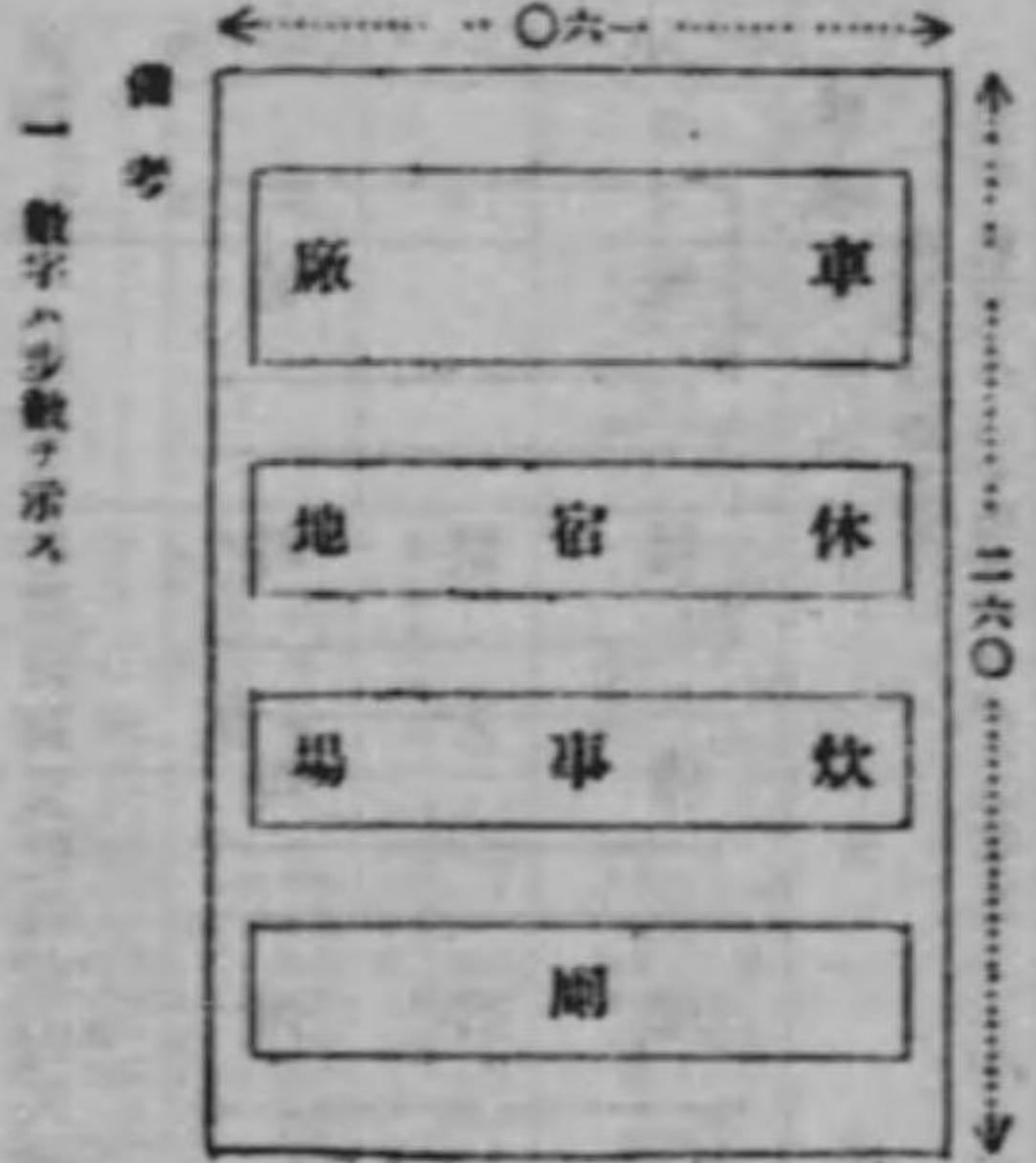


附錄第十 制隊ノ材料ヨリ成ル全形身及門欄ノ搭造法之ニ依ル船陸上陸法

考	備	門		野		野		野		野		野		野		野		野		野																																																																															
		人員	材料	人員	材料	人員	材料	人員	材料	人員	材料	人員	材料	人員	材料	人員	材料	人員	材料	人員	材料																																																																														
一	全形身ノ搭造法	二	門ノ搭造法	三	野ノ搭造法	四	野ノ搭造法	五	野ノ搭造法	六	野ノ搭造法	七	野ノ搭造法	八	野ノ搭造法	九	野ノ搭造法	十	野ノ搭造法	十一	野ノ搭造法	十二	野ノ搭造法	十三	野ノ搭造法	十四	野ノ搭造法	十五	野ノ搭造法	十六	野ノ搭造法	十七	野ノ搭造法	十八	野ノ搭造法	十九	野ノ搭造法	二十	野ノ搭造法	二十一	野ノ搭造法	二十二	野ノ搭造法	二十三	野ノ搭造法	二十四	野ノ搭造法	二十五	野ノ搭造法	二十六	野ノ搭造法	二十七	野ノ搭造法	二十八	野ノ搭造法	二十九	野ノ搭造法	三十	野ノ搭造法	三十一	野ノ搭造法	三十二	野ノ搭造法	三十三	野ノ搭造法	三十四	野ノ搭造法	三十五	野ノ搭造法	三十六	野ノ搭造法	三十七	野ノ搭造法	三十八	野ノ搭造法	三十九	野ノ搭造法	四十	野ノ搭造法	四十一	野ノ搭造法	四十二	野ノ搭造法	四十三	野ノ搭造法	四十四	野ノ搭造法	四十五	野ノ搭造法	四十六	野ノ搭造法	四十七	野ノ搭造法	四十八	野ノ搭造法	四十九	野ノ搭造法	五十	野ノ搭造法



其七 兵站自動車中隊



順位ト発信

附錄第十二

電信通信實施ニ關スル注意

第一 電報ハ其緊急重要ノ度ニ依リ之ヲ軍機電報、至急官報、通常官報ノ三種ニ分テ傳達ノ順位ヲ示ス而シテ電報ヲ發スルノ權ヲ有スル者ハ概ネ左ノ如シ
 (詳細ハ陸軍軍用電報規則ヲ參照スヘシ)
 一 軍機電報
 軍司令官、兵站長、獨立シテ作戰スル團隊ノ指揮官等
 二 至急官報
 前號ノ諸官、師團長、參謀長、分遣セラレタル參謀、兵站司令官、同支部長、將校斥候長等

三 通常官報

前二號ノ諸官、高等司令部ノ各部長、軍參謀部各課高級參謀、高級副官、獨立部隊長、分遣隊長等
 以上ノ如ク發信權ヲ定ムト雖危急ノ場合ニ在リテハ軍用通信網内ニ限リ將校ハ自ラ其責ニ任シ通信所長ニ必要ノ證明ヲ與ヘ各種ノ電報ヲ發スルコトヲ得
 第二 軍司令官ハ其部下ニ在ル前條二、三ニ記載ノ諸官ニ臨時權限外ノ發信權ヲ付與スルコトヲ得此場合ニ於テハ其電報ノ區分及期間ヲ記載セル證明書ヲ下付スルモノトス
 前條一ニ記載ノ諸官ハ戰時ノ重要ナル時機ニ於ケル通信ヲ調節スル爲一時期下ノ發信權ヲ停止スルコトアリ

臨時發信權

特許者ノ類

前條一ニ記載ノ諸官、兵站司令官、同支部長等ハ發信權ナキ者ニ對シ必要ナル場合ニ際シ通常官報發信ノ特許ヲ與フルコトヲ得此場合ニ於テハ特許ヲ與ヘタル諸官ハ類信紙ノ餘白ニ其職氏名ヲ記載シ捺印又ハ華押スルモノトス
 第三 發信權ノ特許ヲ得タル者ハ類信紙ニ方リ特許者ヨリ交付セラレタル證明書ヲ通信所ニ示スヲ要ス返信人ハ返信ニ限リ之ニ對スル往信ト同一順位若ハ其以下ノ電報ヲ發信スルコトヲ得若シ返信人發信權ヲ有セタルカ又ハ自己ノ發信權ヨリ上位ノ返電ヲ發スルトキハ之ニ對スル往信ヲ電信所ニ示スヲ要ス
 第四 電報記載ノ爲メ文字、數字、記號等ハ左ノモノヲ用フヘシ
 文字 片假名四十八字及濁點、半濁點

電報文字

類信紙

數字 一、二、三、四、五、六、七、八、九、〇
 記號 長音、句讀點、新章、括弧、(其他小括弧)、レ、ニ、テ、團、ミ、タル、羅馬字及亞利比亞數字
 第五 電報ハ通常類信紙ニ記載シ署名ノ上捺印若ハ華押シテ差出スヘシ若シ類信紙ナキ場合ニハ通信紙ノ裏面ヲ應用スルヲ便トス
 第六 電報ヲ記載スルニハ數字計算ニ便ナラシムルカ爲濁點及半濁點ヲ附シタル文字ノ下方ニ一空畫ヲ存シ新章ハ記號ニ依リ之ヲ區別シ同行中ニ連續記載スヘシ
 第七 軍用通信網内ニ於ケル電報ノ類信紙ニ方リテハ特ニ左ノ諸項ニ注意スヘシ
 一 軍用電信所ハ特ニ指示アル場合ノ外第一乃至第三記載以外ノ電

類信注意事

報ヲ取扱ハス

一 電報ノ種類ヲ明記スルヲ要ス種類ノ記入ナキ電報ハ通常官報トシテ取扱フモノトス
 軍機電報ニハ其識別ヲ容易ナラシムル爲類信紙ノ下縁ニ赤色紙片ヲ貼付スヘシ已ムヲ得テレハ受信人欄ノ右欄外ニ軍機ト朱書シテ類信スルコトヲ得
 三 受信人ノ居所ハ確實ナルモノヲ詳細ニ記載シ若シ分明ナラザルトキハ推定居所ヲ連記スルヲ要ス
 四 指定ヲ要スル場合ニハ必スシモ指定ノ略符號ヲ用フルヲ要セス然ルトキハ指定欄内ニ親展又ハ留置等ト指定事項ヲ記載スヘシ
 五 緊要ナル電報中ニ在ル數字ハ成ルヘク之ヲ重記スルヲ可トス之カ爲數字一、二、三、四、五、六、七、八、九、〇ノ爲ニハ(ヒ、フ、ミ、ヨ、イ、ム、ナ、ヤ、コ、レ)ノ計數略語ヲ用フルヲ便トス例ヘハ
 二〇三(フレミ)ノ如シ
 六 同文ノ電報ハ最初ノ一通ノ外本文欄ニ「某宛ト同文」ト記載シ其本文ノ記載ヲ省略スルコトヲ得然レトモ同線ノ方向ヲ異ニスルモノニ在リテハ却テ其發送遲延スルコトアリ
 同文ノ電報ヲ無線電信ニ託スル場合ニハ特ニ其時ニ於ケル通信系及通信時間ヲ願慮スルヲ要ス

出征人馬糧秣ノ定量

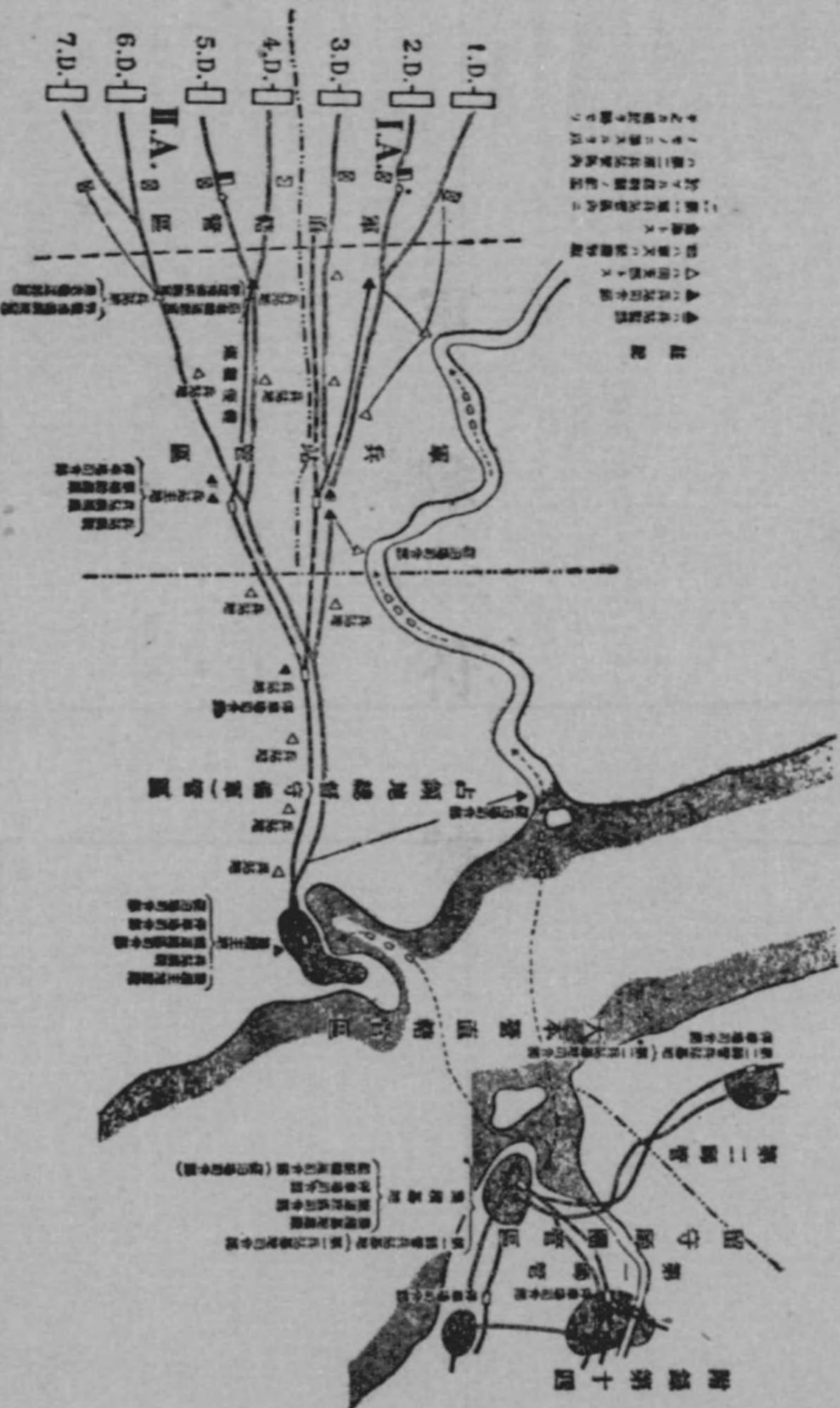
一 尋常糧秣(一日分)

區分	人				馬			
	精米	雜糧	食鹽	鹽漬	麥草	干草	藁	鹽漬
完全定量	1.50	0.50	0.10	0.10	1.50	0.50	0.10	0.10
携行定量	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右

備考
 一 數字ノ式(概算)ヲ示ス
 二 糧食ニ種類スル大麥ハ兼馬ノ糧(行季・越冬ニ關シ)ノ携行定量ニ對シテ一〇五〇(五(一升)不足)トスルヲ示ス

二 携帶糧秣

携帶口糧ハ各人精米一日分(八五五)〔甲〕、パン一日分(六七五)〔乙〕及副食物(雜糧一五〇或四〇或)トシ携帶馬糧ハ各馬大麥二升五合(二、六二五瓦)〔騎兵及之ト行動ヲ共ニスル部隊ノ乘馬ハ二升(二、一〇〇瓦)トス



例圖 占領地總督上野縣站兵

軍
隊
符
號



陸軍第二十八號

陸軍軍隊符號別冊ノ通改正ス

大正十三年八月十三日

陸軍大臣 宇垣 一成

(甲)

陸軍軍隊符號別冊ノ通改正ス
 陸軍大臣 宇垣 一成
 大正十三年八月十三日

陸軍軍隊符號

目次

第一 通則	一頁
第二 野戰ノ部	四
一 各兵共通	四
二 步兵	七
三 騎兵	九
四 野戰砲兵	一一
五 工兵	一三
六 通信、照明	一四
七 航空及防空	一七
八 行李、輜重	二〇
九 警戒及宿營	二二
十 作業	二六
十一 鐵道、船舶關係	二九
十二 兵站關係	三四
第三 攻守城ノ部	三九
第四 海軍ノ部	四六

目次

陸軍軍隊符號

第一通則

- 一、符號ハ著色スルヲ常トシ彼我兩軍ヲ標示スルニハ通常敵軍ニ赤色ヲ、我軍ニ藍色ヲ用フルモノトス
- 二、本書ノ符號ハ使用ノ目的ニ應シ適宜取捨シ使用者ノ意思ヲ簡明ニ表示スル如ク活用スヘキモノトス之カ爲符號ノ一部ヲ省略シ或ハ數種ヲ彼此接合シ要スレハ註記及臨時符號ニ依リ補正スルコトヲ得
- 三、近衛師團ニ在リテハ略字ノ頭ニGノ字ヲ、獨立ノ名稱ヲ冠スル部隊ニ在リテハ略字ノ後ニSノ一字ヲ附記ス後係隊ニ在リテハ略字ノ下ニ一ヲ、國民軍隊ニ在リテハ二ヲ附スルモノトス
- 四、地區ノ境界、特定ノ地域ノ限界等ヲ標示スルニハ適宜ノ線號ヲ用ヒ射方向、攻撃ノ重點、部隊ノ移動方向等ヲ表示スルニハ適宜ノ矢 \rightarrow ノ如キモノヲ用フ
- 五、編制上ノ番號ヲ示スニハ聯隊内ノ大隊號ニ限リ羅馬數字ヲ用ヒ其ノ他ノ部隊ハ總テ亞刺比亞數字ヲ用フ例ヘハ2i, 18Pノ如シ
- 六、部隊數又ハ銃、砲、機數等ヲ表示スルニハ數字(要スレハ

軍司令部	軍團	同司令部	師團	同司令部	旅團	聯隊	各兵中隊長
							各兵將校
							同下士
同兵卒	部隊ノ集團	機關銃(中)隊	機關銃	輕機關銃	輕迫擊砲	重迫擊砲	榴彈筒
							戰車

略字註記ヲ併記スニ括弧ヲ附シ之ヲ示スモノトス例ヘハ、






- i(五小)
 - K(四中)
 - A(三大)
 - p(一小)
 - (2)
 - (3)
 - (4)
- 七、上級部隊ノ番號ヲ併記スルヲ要スルトキハ斜線ヲ以テ相隔テ下級部隊ヲ上ニ上級部隊ヲ下ニ記スルモノトス例ヘハ步兵第二聯隊ノ第三大隊ハ III/2iノ如シ
 - 八、小隊、分隊ヲ示スニハ通常中隊ヲ單位トスル分數ヲ以テス例ヘハ騎兵第五聯隊第二中隊ノ一分隊ハ 1/5Kノ如シ
 - 九、部隊ノ一部ヲ缺キタル部隊ヲ示スニハ負號ヲ附シ括弧内ニ之ヲ示ス例ヘハ步兵第二聯隊(第八、第十二中隊欠)ハ 2K(8,12)ノ如シ


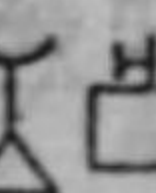

第二野戰ノ部

一 各兵共通

大木營	總軍司令部	方面軍司令部					

疎開セル步兵中隊	分散セル小隊ノ一例	火線ヲ構成セル小隊ノ一例	步兵砲隊	平射步兵砲	曲射步兵砲	步兵通信班	

 火線又ハ第一線  後方部隊  占領地域	三騎兵 K 騎兵 KK 騎兵集團	 騎兵集團司令部 KB 騎兵旅團  騎兵旅團司令部 騎兵聯(大)隊本部 乘馬散開隊形 騎兵部隊 騎兵聯隊ノ密集隊形 同中隊ノ密集隊形
--	------------------------	---

徒歩散兵、徒歩部隊及手馬 KTL 騎兵通信班	四野戰砲兵 A 野砲兵 騎砲兵 山砲兵 野戰重砲兵 St SABAKA 段列	 野戰重砲兵旅團司令部  野砲兵聯隊本部  野砲兵大隊本部  野砲兵ノ部隊 野砲兵放列 野砲兵段列ノ隊形 觀測班(小隊) 旅團 聯隊 觀測所
---------------------------	---	--

工兵部隊 其ノ他歩兵ノ部ヲ準用ス 六 通信、照明 野戰電信隊本部 TL 野戰電信隊 DTL 通信隊(航空通信隊ニ在リテハFTL) 電信通信所	大 隊 中 隊 野戰、山砲、野戰重砲兵ニ在リテハ 卍ヲ以テステニ砲種ノ區別ヲ要スルトキハ加農ニアリテ ハ卍榴彈砲ニアリテハ卍ヲ以テス 五 工兵 P 工兵 工兵大隊本部
--	--

無線電信隊本部 無線電信隊 DLT 移動式無線電信所 固定式無線電信所 野戰照明隊 SW 射光機 視號通信所 PT 使炮隊 塹車	電話通信所 電話機(特ニ區別ヲ要スルトキハ 電話機電鈴式ニ限リXヲ用フ) 電話交換機 轉換器 音響機(現字機) 二重電話機 自働機 現波機 通信線(但シ種別ヲ區別スルトキハ要スルトキハ波長 通信線ノ水陸線、海底線ニハXヲ用フ)
--	---

航空及防空

航空部長

飛行聯隊長

飛行大隊長

飛行隊

飛行機

飛行機ノ編隊

飛行機(平面圖)

飛行機(側面圖)

飛行場

七

航空及防空

航空部長

飛行聯隊長

飛行大隊長

飛行隊

飛行機

飛行機ノ編隊

飛行機(平面圖)

飛行機(側面圖)

飛行場

九 警戒及宿營

同車輜中隊

隊調理所

病馬收容所

病馬救護所

小哨若クハ前哨中(本)隊

下士哨

架橋材料中隊

輜重兵大隊本部

T 輜重

野戰病院

馬廠

衛生隊

衛生隊擔架中隊

S PD FL

八 行李、輜重

野戰高射砲隊

陣地高射砲隊

同司令部

空中聽音機

照空燈

高射機關銃

對空監視哨

氣球隊

氣球隊本部

氣球昇騰位置

對空監視哨

高射機關銃

野戰高射砲隊

陣地高射砲隊

同司令部

空中聽音機

照空燈

高射機關銃

對空監視哨

氣球隊

氣球隊本部

氣球昇騰位置

對空監視哨

高射機關銃

八 行李、輜重

野戰高射砲隊

陣地高射砲隊

同司令部

空中聽音機

照空燈

高射機關銃

對空監視哨

氣球隊

氣球隊本部

氣球昇騰位置

對空監視哨

高射機關銃

野戰高射砲隊

陣地高射砲隊

同司令部

空中聽音機

照空燈

高射機關銃

對空監視哨

氣球隊

氣球隊本部

氣球昇騰位置

對空監視哨

高射機關銃

一、村落露營ハ宿營セル村落、畑地等ヲ含有スヘキ矩形若ハ多角形ヲ描キ其ノ内部又ハ外部ニ隊號ヲ記ス

二、露營ハ適宜ノ矩形(正面)ノ一邊ヲ太クシテ描キ内部又ハ外部ニ隊號ヲ記ス

三、露營ハ適宜ノ矩形(正面)ノ一邊ヲ太クシテ描キ内部又ハ外部ニ隊號ヲ記ス

四、合營衛兵、露營衛兵並各隊監視兵等ハ前哨ノ要領ニ準シテ描

II/i

3i

I

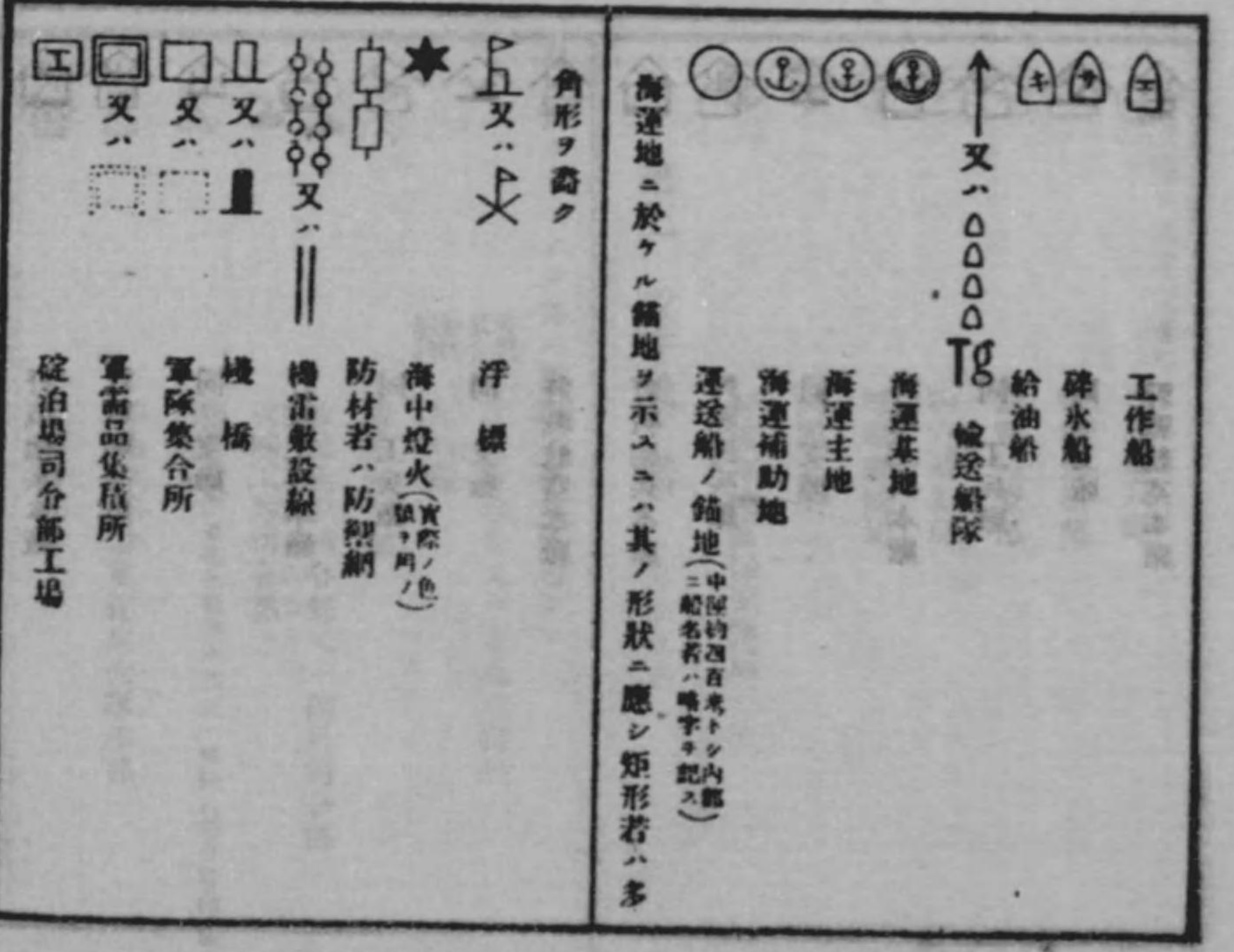
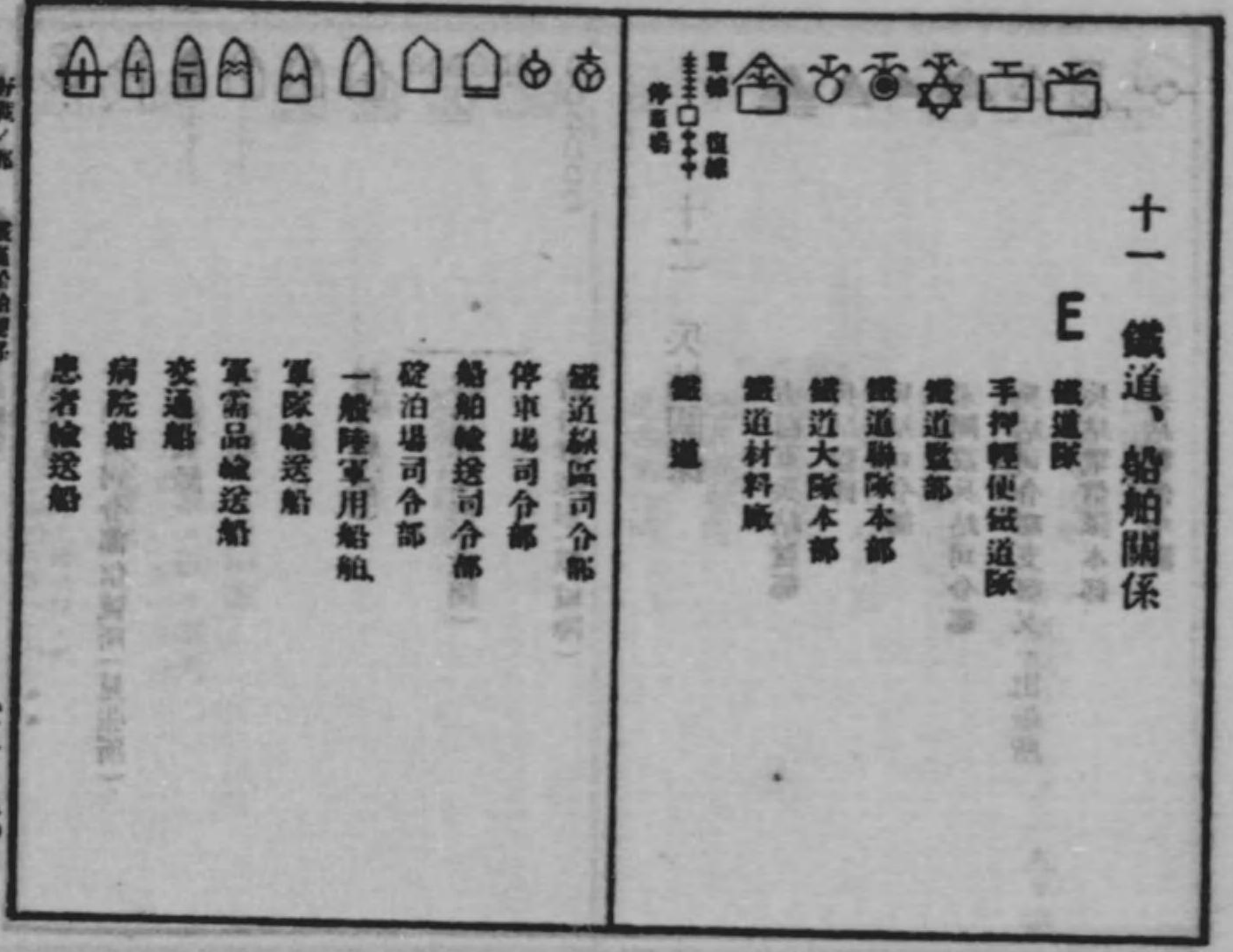
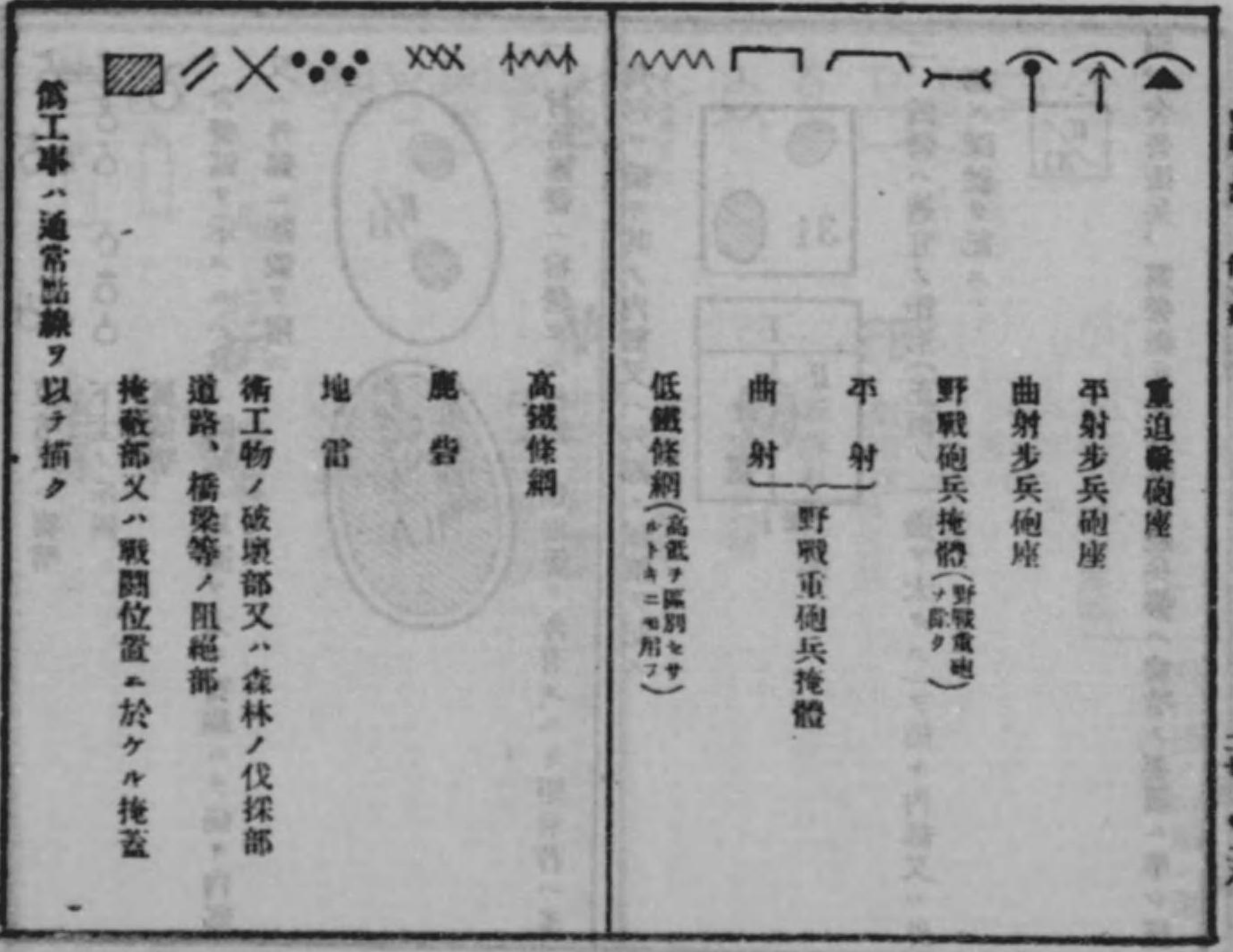
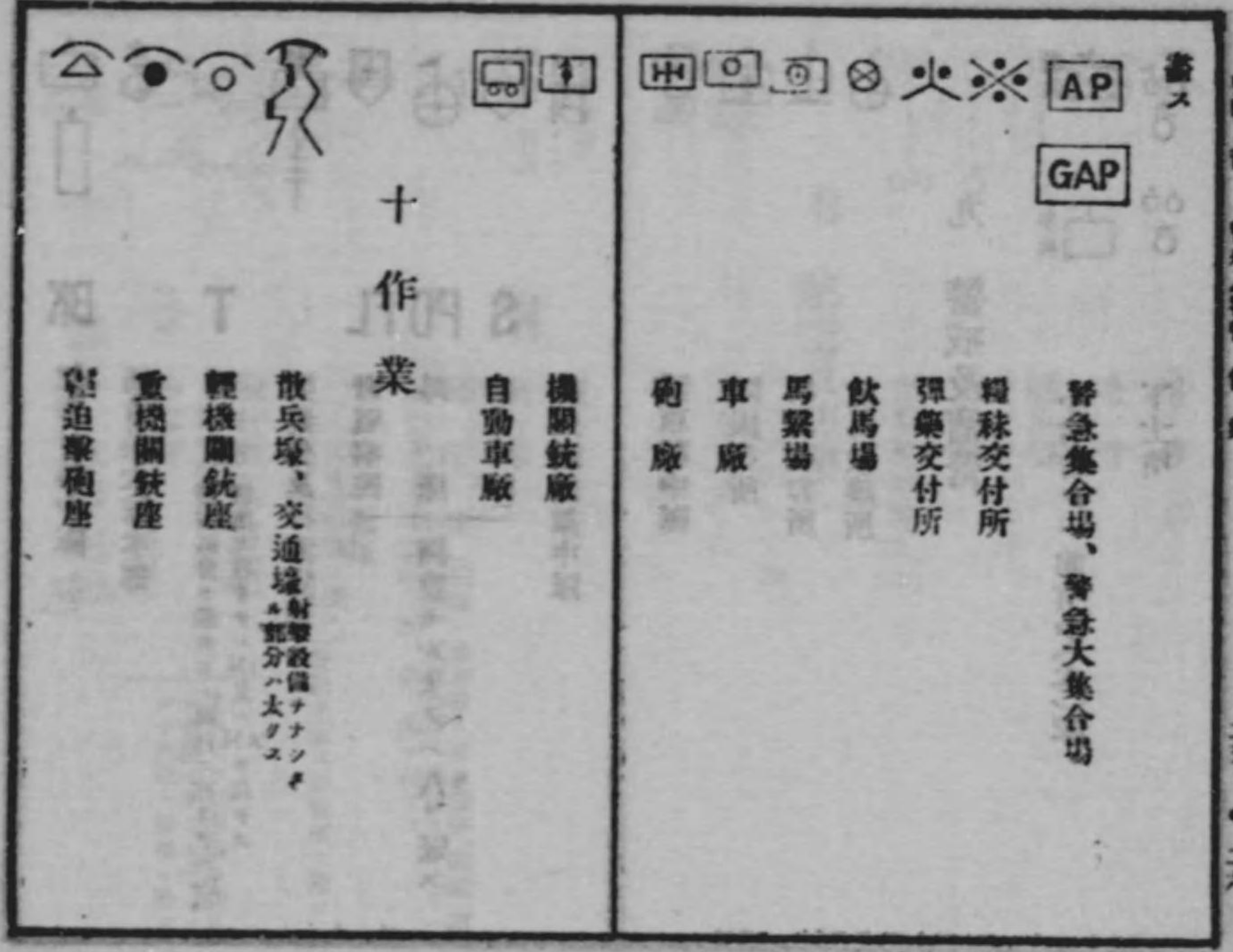
II

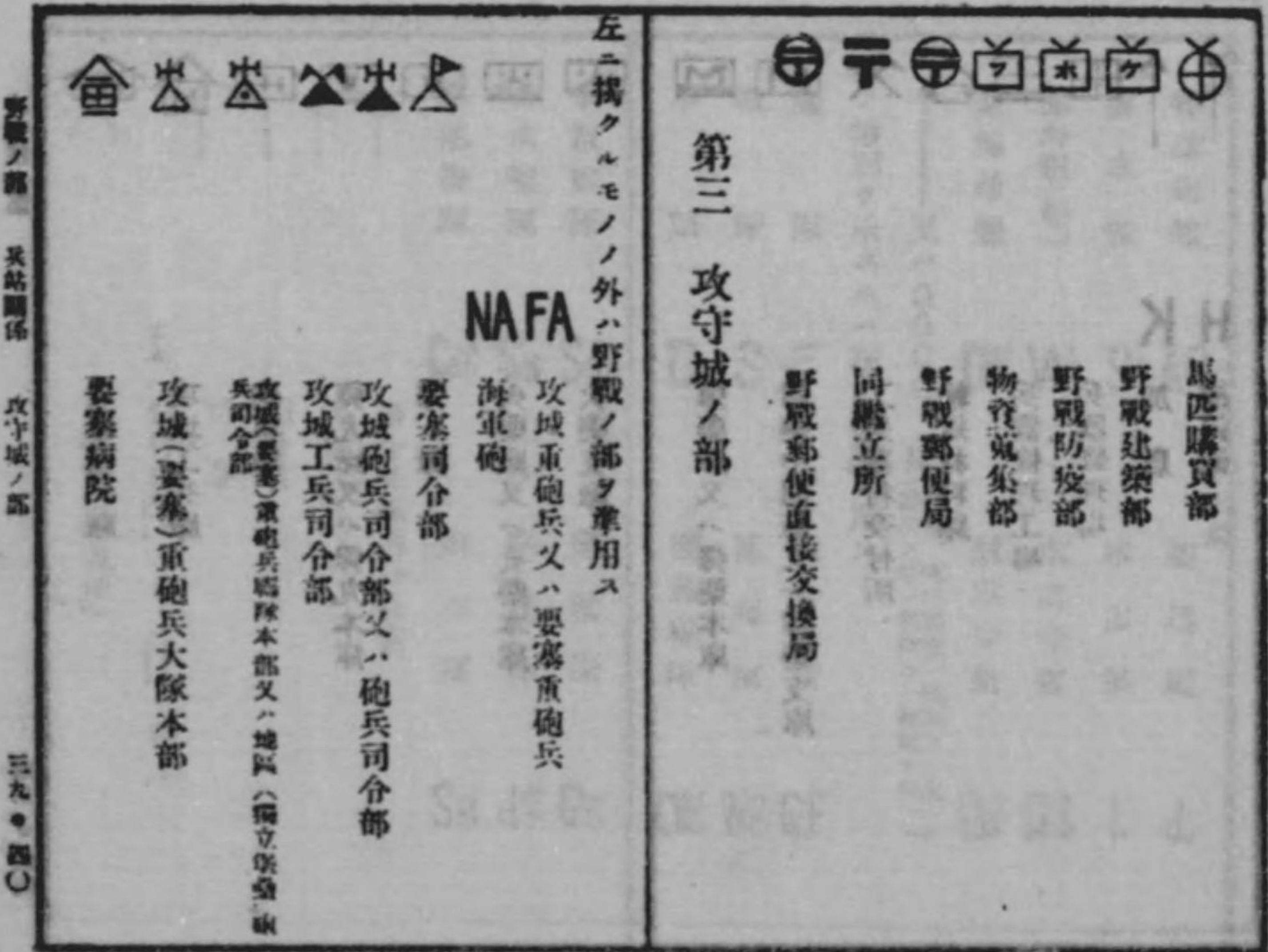
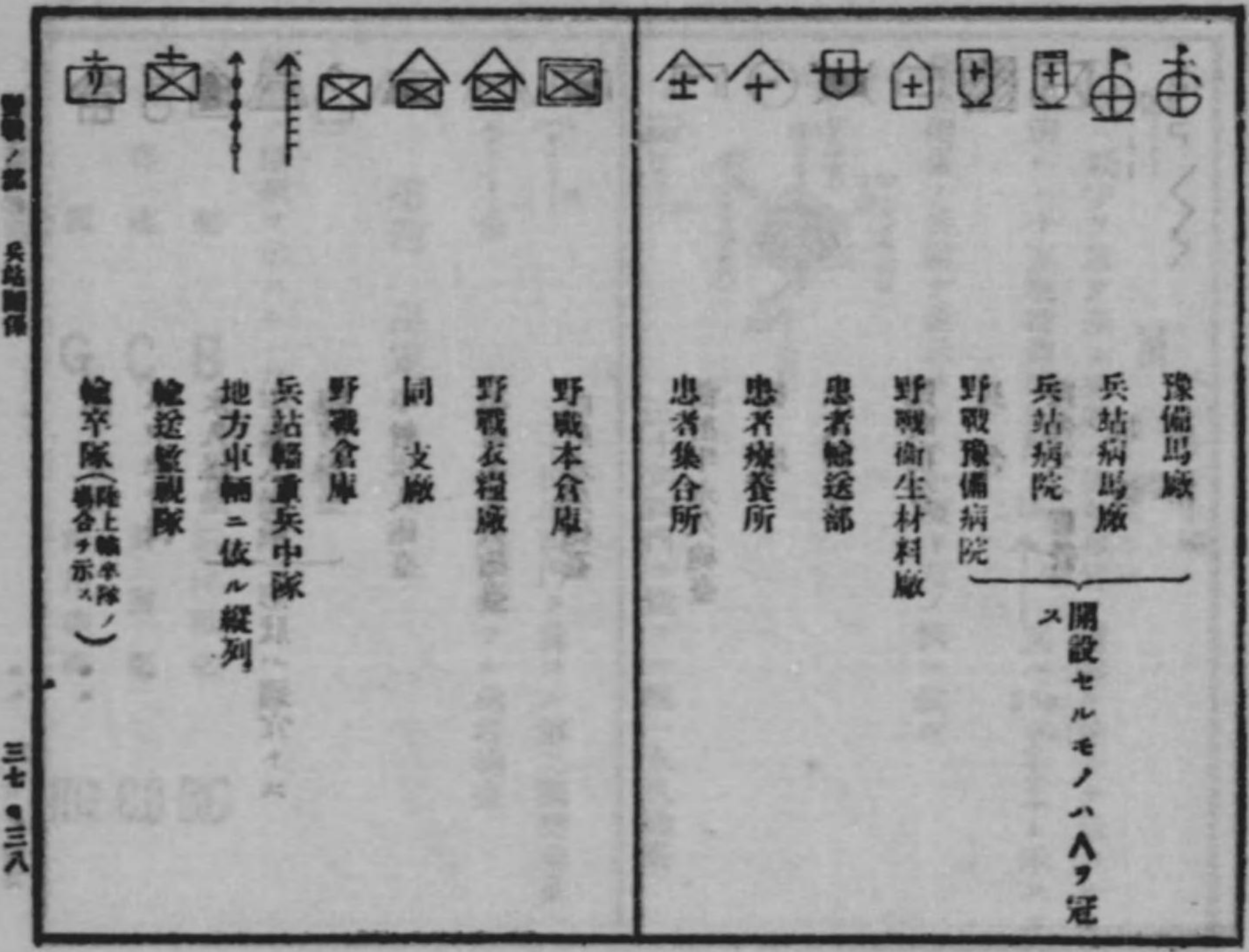
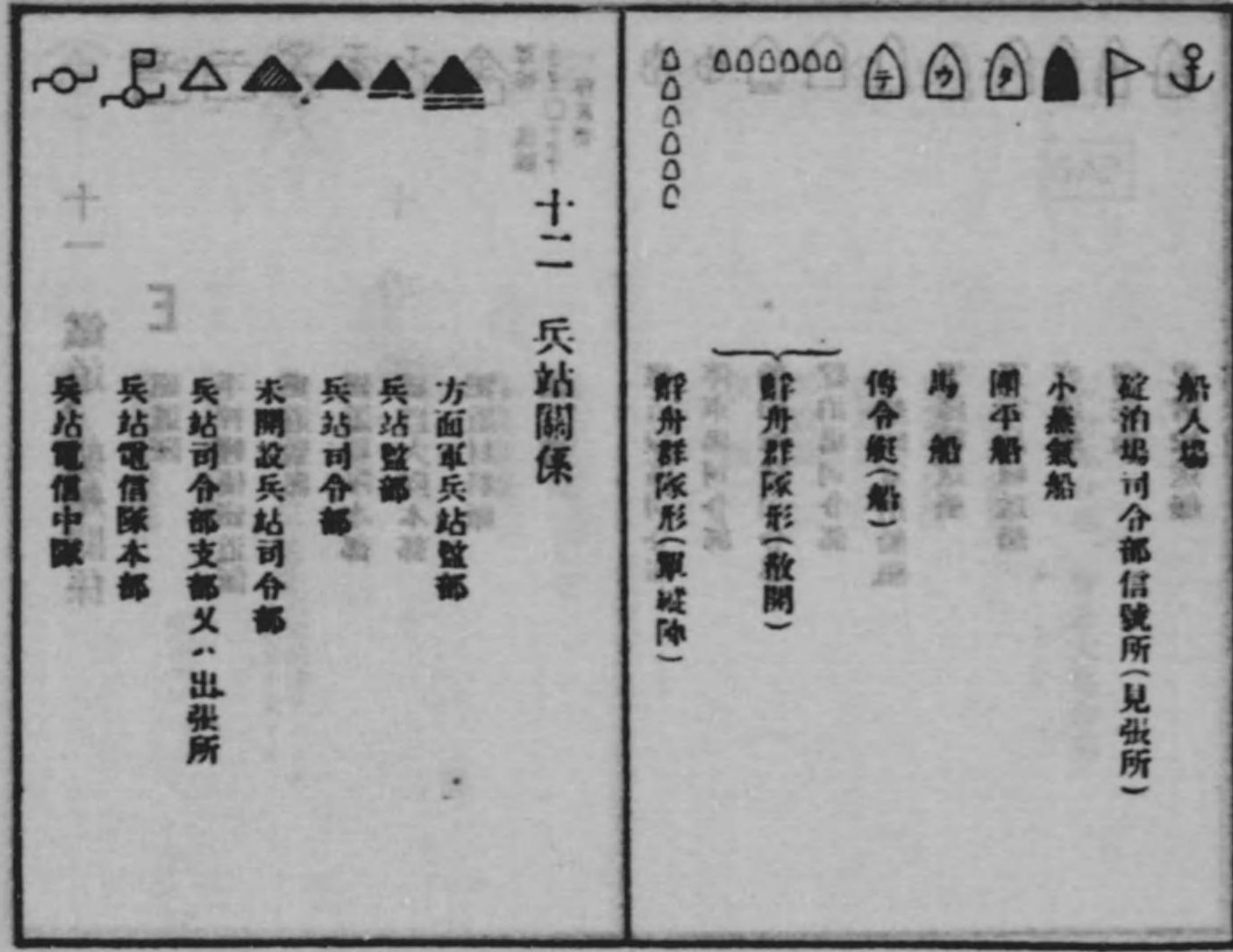
III

2i

IIA

IIA





第四 海軍ノ部

艦船ノ種類ヲ示スニハ左ノ如ク註記ス

戰艦 巡洋戰艦 巡洋艦 海防艦 河用砲艦

G C B

RG CD BC

II 40c

二十四榴四門ヲ備フル第二臨時砲臺
四十加二門ヲ備フル砲塔砲臺

I 三十加四門ヲ備フル第一永久砲臺

M 臼砲

口徑ハ數字ヲ以テ示シ砲數ハ砲數相當ノ橫線ヲ附シテ示スコトヲ得例ヘハ十五榴砲四門ハ15c⁽⁴⁾又ハ15c⁽¹⁾ト示スカ如シ

俣量砲臺ノ兵備ヲ表示スルニハ概テ左ノ例ニ依ル

特設砲艦 潜水艦 掃海艦(船) 掃海母艦 小艦隊 戰艦 艦隊 隊ノ種別ヲ示スニハ左ノ註記ヲ用フ

水雷戰隊 潜水戰隊 驅逐聯隊

驅逐聯隊 水雷戰隊 潜水戰隊

CdS Ss Sd

D S F

聯合艦隊司令長官
司令官
司令

f 飛行機fw 水上fl 陸上見張所(信號所)

DW W S AG

驅逐艦 水雷艦 水雷母艦 航空母艦 掃海聯隊 聯合艦隊 掃海艦隊

CdS Ws Gs

Ds Dd t d

隊(戰艦、巡洋戰艦、戰艦ニハ大ノ口徑ノ砲ヲ備フルノ種別ヲ用フ)

攻守城ノ部

同分院
水中聽音機
永久堡壘
半永久堡壘 形狀ハ適宜トス
臨時堡壘
平射永久砲臺
曲射永久砲臺
曲射半永久砲臺
砲塔
永久櫃舍
臨時櫃舍
兵舍
廠舎又ハ廠營
坑道
攻路

攻守城ノ部

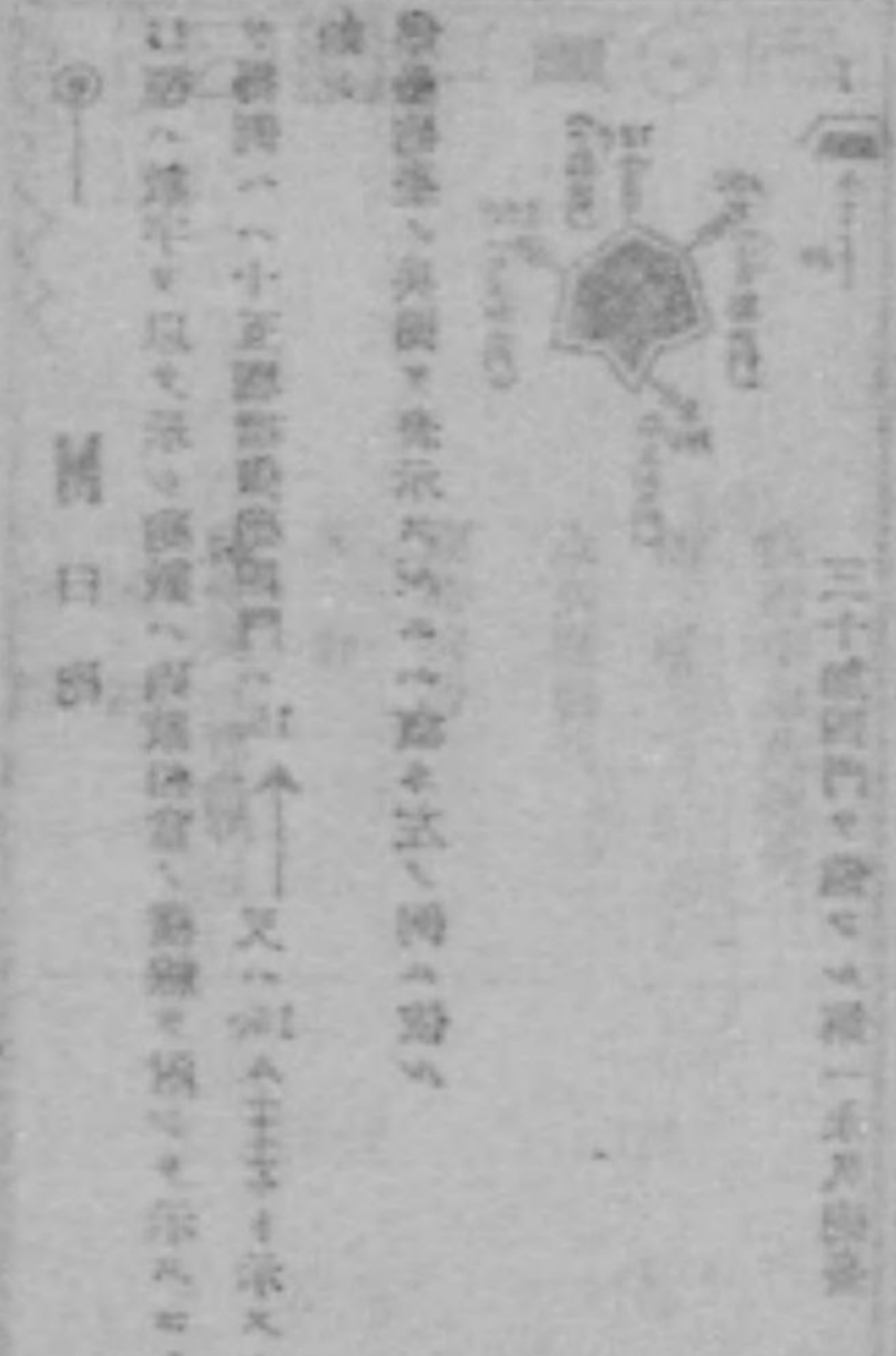
攻城砲兵廠
攻城工兵廠
砲車廠
彈丸廠又ハ彈丸本庫
彈廠
火藥廠又ハ火藥本庫
火藥支廠

AWA

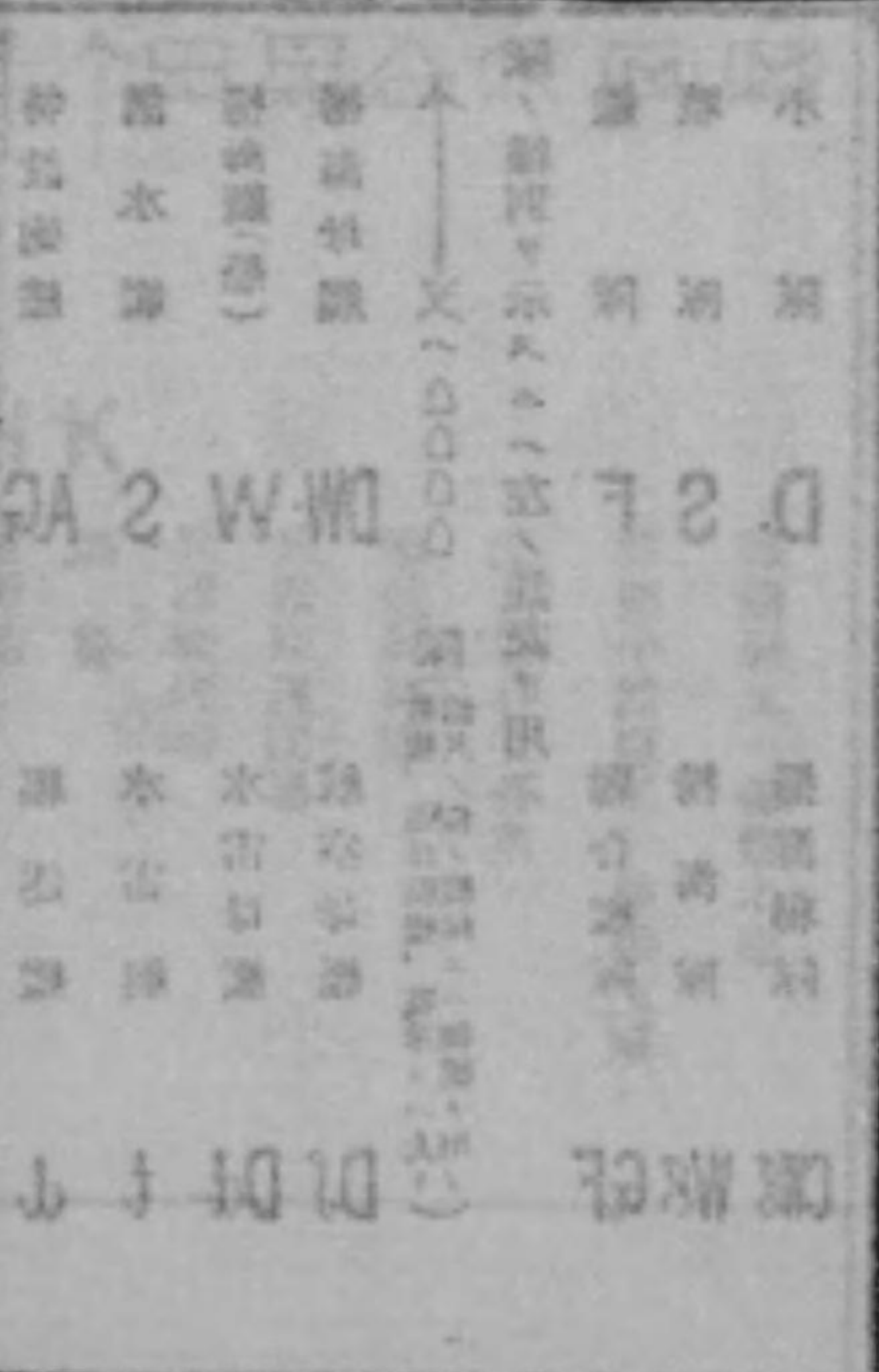
彈藥廠又ハ彈藥本庫
彈藥中間廠又ハ彈藥支庫
工兵器材交付所
輸送材料廠
兵器修理工場
兵器修理場
加農
榴彈砲

HK

<p>不許 複製</p>	<p>索引附 縮刷典令集 砲兵科</p>	<p>昭和五年八月廿四日印刷 昭和五年八月廿八日發行</p>
<p>定價 壹圓貳拾錢</p>	<p>砲操 戰鬥 陣中 符號</p>	
<p>發行所 兵書刊行會</p> <p>電話九段三四六七番 振替東京七二五六一番</p>	<p>印刷所 兵書刊行會印刷所</p> <p>東京市赤坂區田町三丁目十一番地</p>	<p>編輯者 齋藤市平</p> <p>東京市麴町區三番町六十九番地</p>



繁留氣球
 望樓
 潜水艦配備地
 航空機配備地



繁留氣球
 望樓
 潜水艦配備地
 航空機配備地

新

刊

縮

索引 付
刷典令集

步兵科

最上革皮表紙、金文字入
セルロイドカバー附

定價 壹圓

送料 四錢

縮

索引 付
刷典令集

砲兵科

最上革皮表紙、金文字入
セルロイドカバー附

定價 壹圓貳拾錢

送料 四錢

縮

索引 付
刷典令集

輜重兵科

最上革皮表紙、金文字入
セルロイドカバー附

定價 壹圓

送料 四錢

右三書ハ姉妹編ニシテ各其兵科ノ操典及戰闘綱要、陣中要務令、軍隊符號ノ合本ナリ、表題索引、條項索引ヲ附シ彼是對照研究ニ便ス

